

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2, 6-キシレノールの藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に
対する生長阻害試験

試験番号 No. 2005-生73

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」（薬食発第1121002号、平成15・11・13製局第2号、環保企発第031121002号、平成15年11月21日）に準拠して実施した。

- | | |
|--------------|--|
| 1) 被験物質 | : 2, 6-キシレノール |
| 2) 暴露方式 | : 止水式、振盪培養 (100rpm) |
| 3) 供試生物 | : <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> (ATCC 22662) |
| 4) 暴露期間 | : 72時間 |
| 5) 試験濃度(設定値) | : 対照区, 1.0, 2.2, 4.6, 10, 22, 46, 100 mg/L
公比; 2.2 |
| 6) 試験溶液量 | : 100 mL (OECD 培地) / 容器 |
| 7) 連数 | : 3 容器/試験濃度区、6 容器/対照区 |
| 8) 初期細胞濃度 | : 0.5×10^4 cells/mL |
| 9) 試験温度 | : 23 ± 2 °C |
| 10) 照明 | : $60 \sim 120 \mu\text{E}/\text{m}^2/\text{s}$ (フラスコ液面付近) で連続照明 |
| 11) pH | : 試験溶液のpH調整は行わない |
| 12) 分析法 | : HPLC 法 |

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

暴露期間中の被験物質濃度の変動は、揮散による濃度減少と考えられたため、暴露開始時および暴露終了時の測定値を用いた幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。

2) 生長速度の比較による阻害濃度

50 %生長阻害濃度 $E_0C_{50}(O-72)$: 45 mg/L (95 %信頼限界 : 40 ~ 51 mg/L), Logit

最大無影響濃度 NOEC (Rate 0-72) : 2.0 mg/L

3) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50 %生長阻害濃度 $E_0C_{50}(O-72)$: 10 mg/L (95 %信頼限界 : 9.5 ~ 12 mg/L), Logit

最大無影響濃度 NOEC (Area 0-72) : 2.0 mg/L

4) 生物量を基にした生長速度の比較による阻害濃度 [2) 生長速度の比較による阻害濃度に同じ]

50 %生長阻害濃度 $E_0C_{50}(O-72)$: 45 mg/L (95 %信頼限界 : 40 ~ 51 mg/L), Logit

最大無影響濃度 NOEC (Rate 0-72) : 2.0 mg/L

5) 収量法の比較による阻害濃度

50 %生長阻害濃度 $E_0C_{50}(O-72)$: 9.4 mg/L (95 %信頼限界 : 8.5 ~ 10 mg/L), Logit

最大無影響濃度 NOEC (Yield 0-72) : 2.0 mg/L